

# Level IV Discovery シンポジウム in Aichi

～あいち自動運転推進コンソーシアム

2020. 2.13 thu



2020年2月13日、愛知県のヒルトン名古屋にて、自動運転技術を利用した新たな移動サービスの導入を検討される自治体・事業者様向けに第一回シンポジウムを開催しました。

Level IV Discovery の紹介を含む、7コマのプログラムを通じて実用化に向けた各種取組等の発表を実施しました。

また、あいち自動運転推進コンソーシアム共催のもと、大村県知事（コンソーシアム会長）から挨拶を頂戴し、愛知県の取り組みや施策に関する講演が行われました。

総勢130名を超える皆様にご参加いただき、活発な情報交換も行われました。

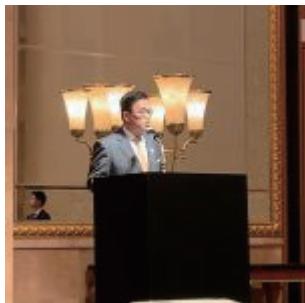
## ※当日の講演から主な内容を以下に紹介します。



### ■ 主催者代表挨拶

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 リテール商品業務部 部長 堀江 裕志

「自治体の方に聞くと実証実験を導入したいが、どのようにしたら良いのかわからない」という声をよく聞く。そういった方々の力となれば良いと考えており、そのためにも今後も Level IV Discovery シンポジウムを各地で実施していく予定としている。安心・安全・安価のソリューションを広く皆さんにお届けしていきたい。



### ■ 共催者挨拶

あいち自動運転推進コンソーシアム会長 愛知県知事 大村 秀章

あいち自動運転推進コンソーシアムは、産学行政連携組織で新事業・新ビジネスを築き上げ、自動運転の社会実装を目指していくものである。自動車王国の愛知が次の100年も永続的に続くよう、競争をしていく必要があると考えており、現在は社会実装を目指して推進しており、あわせて最新技術や動向も発信している。

自動運転は、高齢者・交通弱者を支援すると共に地域づくりにもインパクトを与えるものと考えている。



### ■ あいち自動運転推進コンソーシアムの活動について

愛知県経済産業局産業部産業振興課 主幹 林 英毅

愛知県では自動運転の社会実装を推進するため、県が主体となって、自動運転の実証実験を先導的に実施してきた。現在は、ビジネスモデルをどのようにするのかを検討し、社会実装を目指した実証実験を実施している。

あいち自動運転推進コンソーシアムは、県内外の企業・大学等と市町村とのマッチングを実施すると共に、実証実験実施に必要な手続のワンストップサービスや新事業・新ビジネスモデル創出に向けた調査研究を行っており、現在は107の機関が所属。来年度については、「ショーケースモデル」「集客施設内モデル」「住宅団地・郊外モデル」の3類型をイメージして引き続き実証実験を展開していく。



### ■ 自動運転の現状～グローバルトレンドとキードライバー～

PwC コンサルティング合同会社 シニア・マネージャー 藤田 裕二

PwC コンサルティング合同会社の使命は日本がグローバル市場で競争力を高めることである。自動車の保有台数に関する世界の動向や新モビリティモデルの成長見込みについて説明。

トヨタの街づくりへの取り組みのように、近未来のクルマはもはや単独の「モノ」として存在するのではなく、「移動サービス」として「街」を構成する一つの要素となっていくと考えられる。自動運転の開発スピードは速い。ただ自動運転だけでは価値が出ない。自動運転+αがあつてこそ価値が出るものであり、競争力をつけるにあたって非常に大切なことである。業界横断的なサービスやソフトウェア技術導入が鍵となり、そういう価値を生み出す部分に経営資源を集中させる必要がある。



## ■自動運転の動向とAutowareの仕組み

株式会社ティアフォー 取締役 /COO 田中 大輔

ティアフォーは、オープンソースの自動運転OSを社会全体の財産として社会課題を解決に導いていこうと考えている。

自動運転を実現する要素は車両システムだけではない。安全への取り組みや社会的な枠組みの整備といったものが不可欠であり、乗車している人だけでなく車外の人の安全も確保できるよう取り組んでいる。また、走行のクオリティをあげるための開発も行っている。自動運転は技術的にはある程度のレベルまでできているが、社会実装にはもうひと押しが必要となるため協力をていきたい。自動運転＝移動のコストに現在の2倍、3倍のコストを払いたいとは誰も思わないはずなので、自動運転によって生まれる時間・空間に付加価値を付けることも検討している。そういった付加価値により、自動運転の社会実装に向けたハードルが下がっていくのではないかと考えている。



## ■5G時代の自動運転について

株式会社KDDI 総合研究所 執行役員 大谷 朋広

KDDIは「通信とライフデザインの融合」を提唱し、新たな「価値体験」の提供を行うことビジョンとしている。

自動運転の実現にあたって、例えば、遠隔監視・操作時に通信は必要不可欠なものである。国内で初めて5Gを活用した複数車両の遠隔監視型自動運転を実証した。

遠隔監視・制御の通信要件としては、安定した通信が大切で、映像伝送の品質保証が鍵となる。加えて、ソフトウェア処理の低遅延化が不可欠であり、車から基地局への「上り」方向の帯域がポイントとなる。

自動運転のサービスとして、車両内で自動運転車やダイナミックマップと連動したVRコンテンツを視聴できるようなエンターテインメント、ダイナミックマップを用いて最新の地図道路情報を検知し走行経路を変更するといったことも実証してきた。これから自動運転時代において、通信で積極的に貢献できるようにしていきたい。



## ■インシュアテックソリューション Level IV Discoveryについて

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

リテール商品業務部 自動運転タスクフォースリーダー 新海 正史

現在の保険は、事故後に支える「備え」的なものと言える。今後は、走行前の「安全対策」や走行中の「見守り」により、「事故を防ぐ保険」といった「安心・安全」を提供するものへとシフトが必要になってくる。

新しい役割として、株式会社ティアフォー、アイサンテクノロジー株式会社と共に3社業務提携を締結し、安心・安全な自動運転サービス実証を支えるインシュアテックソリューション「Level IV Discovery」の開発を進めている。また、地域によっては、自動運転実証に関する相談窓口が不明確で情報の地域格差が生まれており、その対応として事務局を設置した。自動運転の実証サポートや相談窓口、情報発信を進めていきたい。

自動運転の実証は高いというイメージが先行しがちだが、実証条件を限定した安価な「スターターパッケージ」も準備をしている。この「スターターパッケージ」で交通課題検討開始のきっかけにして頂ければと考えている。

自動運転の実施には「法整備・社会制度整備」が不可欠となる。各社の連携で政策提言等を行い、整備に向けて働きかけることが必要ではないか。

事故に備えた「SOMPO」から事故を防ぐ「SOMPO」へと進化し、経営理念となる「安心・安全・健康のテーマパーク」をモビリティ分野で実現したい。



## ■自動運転事業における新たな資金調達手法について ～成果連動型民間委託の活用～

株式会社三井住友銀行 成長産業クラスター  
第二グループ グループ長 上遠野 宏

現状、自治体から民間事業者への委託業務では、予め定められた事業を実施さえすれば自治体は一定の固定報酬を払うというのが一般的である。一方、「成果連動型民間委託」においては、自治体はその民間委託事業から得られた社会的インパクト（例：自治体コスト削減額）に連動した報酬を払うことになる。

自動運転事業も社会的インパクト（事故死者数軽減、渋滞緩和、交通弱者支援、企業発展・誘致等）を創出するソリューションであると考えている。要するに「成果連動民間委託」として官民連携することで社会的課題を解決し、その解決の度合いによって削減できた行政コストを民間にインセンティブ報酬として還元しても良いのではないかということである。ここで、弊行は、自動運転事業者の皆様の資金調達でお役に立てる可能性がある。

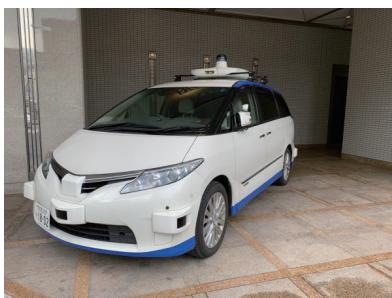
自動運転事業に「成果連動民間委託」を導入することで、地元企業や市民には渋滞緩和や交通弱者支援というメリットを享受し、自治体は行政コスト削減と共に場合によっては税収増という「官民Win-Win」の関係が築ける可能性があるものと考える。



## ■愛知県における自動運転実証サービスの取り組みについて アイサンテクノロジー株式会社 取締役 佐藤 直人

アイサンテクノロジーは、公開可能ベースで2020年1月現在において、21県52自治体で累計100か所以上の一般道のフィールドで実証実験を無事故で積み重ねてきた。当初は準備に数か月要していたが、体制もステップアップし、数日から1週間程度で準備が整うようになってきている。自動運転の実用化に向け、愛知県飛島村、兵庫県西播磨、長野県塩尻市といった各自治体と自動運転に関する協定を締結しており、地域交通の課題解決に取り組んでいる。地域の課題は様々であり、多様なサービスモデルに合わせ、さまざまなタイプの自動運転車両の投入が可能である。

自動運転はあくまで、手段であって目的ではない。街づくりや課題解決に繋げて頂ければと考えている。



入口エントランスには  
自動運転車両を展示しました。



会場外のロビーに  
各種パネルを展示しました。



プログラム終了後の  
情報交換会の様子です。